

さいたま市におけるインフルエンザの流行状況（速報）

2008-2009 年シーズン、第 22 週(5 月 25 日～5 月 31 日)

★ 新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザ A/H1N1)に関する情報

↓ 情報は随時更新されています、最新の情報をご覧ください ↓

- 1 厚生労働省ホームページ: 新型インフルエンザに関する情報—各種情報、通知等を掲載。
- 2 国立感染症研究所 感染症情報センターホームページ: 新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザ A/H1N1)
※大阪における臨床像改訂版(69 例の臨床情報を解析)が掲載されています。
- 3 さいたま市の電話相談窓口 : 048-840-2220
- 4 さいたま市感染症情報センターホームページ: 「新型インフルエンザの予防について」を掲載しました。

※ 5 月末以降、海外の患者発生状況で注目されるのが、オーストラリア(6 月 3 日午前 6 時現在 502 人、現地政府の発表より)、チリ、アルゼンチンなど南半球での増加と、アジアでは中国(6 月 2 日現在 52 人、WHO の発表より)の増加です。(国内・海外発生状況は市感染症情報センターホームページに掲載、随時更新しています)

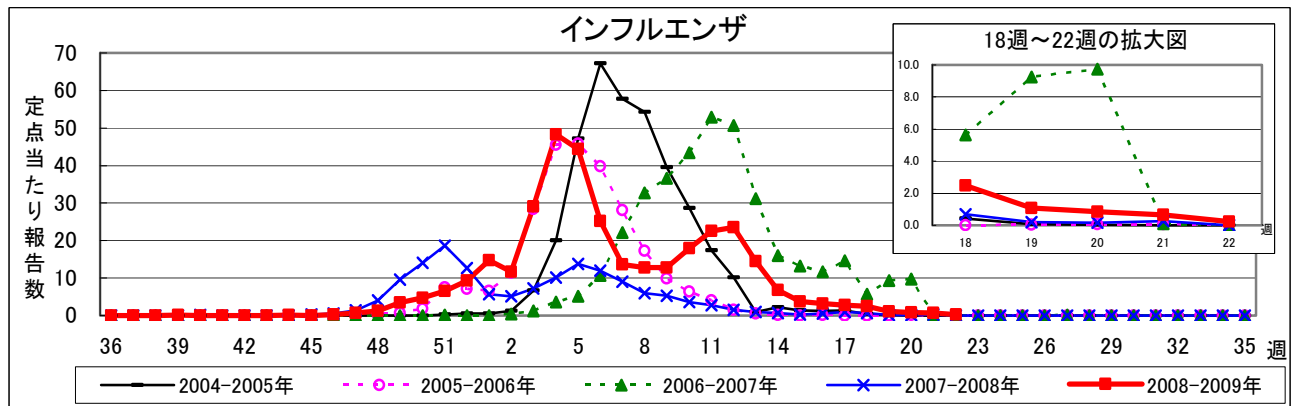
I. インフルエンザ患者発生報告状況

感染症発生動向調査による定点医療機関からの患者報告状況

定点医療機関からの患者報告数は 9 人でした。「定点当たり報告数」は、0.23 人と 3 週間連続して流行の指標となる「定点あたり報告数 1.0」より少ない状況で、流行は終息しています。第 22 週までの累積報告患者数は、12,476 人です。

新型インフルエンザ(ブタインフルエンザ H1N1)の感染の広がりも心配されます。

予防及び感染拡大防止のため、咳エチケット・手洗い・ウガイの励行、並びに体調の悪いときは早めに休み、受診するよう御指導お願いします。



インフルエンザウイルスを検出した患者数(第22週)

検体採取週	分離 ¹⁾			未分離 ²⁾		
	A型		B型	A型		B型
	H1亜型	H3亜型		N1遺伝子	N2遺伝子	
08年第36週 ～09年第8週	19	9	5	0	0	0
第14週	0	0	1	0	0	0
第18週	0	0	0	0	1	0
第19週	0	0	0	0	1	0
第20週	0	0	0	0	3	0
第21週	0	0	0	0	4	0
第22週	0	0	0	0	1	0
合計	19	9	6	0	10	0

- 1) ウイルスそのものが検出されたもの
- 2) ウイルスの遺伝子が検出されたもの

II. 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況について

今シーズン、第 22 週までに提供された検体からのウイルス検出状況は、表のとおりです。

※参考 Aソ連型 : H1N1
A 香港型 : H3N2

※この情報は 6 月 3 日現在の速報です。
後日データの修正をすることがあります。